

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	理科 理科総合B	単位数	2 単位	履修学年	1 年
目標	自然の事物・現象に関する観察・実験を通して、地球の姿や変動、惑星、大気や水の循環を中心に、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然の関わりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。				
使用教材	教科書…高等学校 理科総合B 改訂版（啓林館）				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	自然の事物・現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験などを行うとともに、事象を実証的・論理的に考えたり分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断する。	観察・実験の技能を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探求する方法を身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察・実験などを通して、自然の事物・現象について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉授業では自然に対する見方や関心意欲を見るときともに、現象について理解し知識を身につけたかを見る。</li> <li>・観察・スケッチでは、技術の適切さと結果から得られたものを的確に表現できるかを見る。</li> <li>・データ処理では、得られた結果を分析し、1つの自然現象について総合的判断が下せるかを見る。</li> <li>・実習では、自然現象について原理・法則を理解し、それに基づいて実験・観察が意欲を持ってできるかを見る。</li> <li>・定期考査では、それぞれの期間に行った授業・観察・データ処理・実習などを理解し、身につけているかを見るときともに、学習した自然現象について総合的に考え、判断できるかを見る。</li> </ul>				
学期	学習内容	学習のねらい			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の見方</li> <li>・探求の仕方</li> <li>・地球の概観</li> <li>・地球の内部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の屋上から周囲の観察と、校庭の樹木を観察し、その違いを調べる。</li> <li>・学校周辺の気温分布例をもとに補正気温の求め方、そして、その結果から環境と気温の関係を考える。</li> <li>・V字谷等さまざまな地形をあげ、その成因を考える。</li> <li>・地球内部の状態とプレートの境界にある地形を知る。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートの動きと地球の変動</li> <li>・さまざまな景観と変動の記録</li> <li>・地球と他の惑星</li> <li>・地球の進化と生命の誕生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートの動きによる地殻変動に伴う地形を学び、火山島などからプレートの動く速さを求める。</li> <li>・北アメリカ大陸を例に大陸の成因を調べる。また、波による陸地の侵食について調査する。</li> <li>・太陽系の惑星の特徴を知り、地球に生命が存在できる条件をまとめる。</li> <li>・地球誕生から現在までの進化の様子と生命が誕生する可能性のある事ごらを探る。</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気と地球の熱収支</li> <li>・大気と水の循環</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の層構造を学び、太陽放射と地球放射、および温室効果により地球の熱収支はつり合っていることを知る。</li> <li>・地球を巡る大気の循環と地上の季節風・海陸風などの生じる原因を学ぶ。また、雲や雨のしくみを知り、天気と特徴を大気の流れと関連つけて学習する。</li> </ul>			
学習上の留意点	理科総合Bは、理科の中で理科総合Aとともに基礎的な内容を幅広く学習する科目であり、中学校の理科第2分野を引き継ぐ生物・地学分野に該当するものである。また本校では、1、2年生の2年間で理科総合Bを履修し、1年生で地学分野を、2年生で生物分野を学ぶ。				